



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月3日

上場会社名 ニッコンホールディングス株式会社
 コード番号 9072 URL <https://www.nikkon-hd.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員経理部長
 四半期報告書提出予定日 2023年2月13日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 黒岩 正勝
 (氏名) 忞田 泰典
 TEL 03-3541-5330

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	158,822	8.4	14,479	0.8	16,555	3.7	11,393	5.6
2022年3月期第3四半期	146,562	9.1	14,602	12.8	15,963	12.9	10,792	12.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 11,676百万円 (13.7%) 2022年3月期第3四半期 10,272百万円 (15.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	176.25	175.83
2022年3月期第3四半期	164.15	163.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	349,318	222,323	63.5
2022年3月期	339,475	219,035	64.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 221,804百万円 2022年3月期 218,478百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		34.00		35.00	69.00
2023年3月期		48.00			
2023年3月期(予想)				48.00	96.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	217,000	9.5	20,200	3.5	22,300	3.3	15,400	4.5	238.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	65,739,892 株	2022年3月期	68,239,892 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	1,563,426 株	2022年3月期	2,723,278 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	64,644,204 株	2022年3月期3Q	65,746,467 株

(注)期末自己株式数及び期中平均自己株式数の算定上控除する自己株式数には、取締役を受益者とする信託が保有する当社株式(2023年3月期3Q 26,900株)が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和や各種政策の効果等により緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、エネルギー価格の高騰や日用品・食料品の相次ぐ値上げなどのインフレ傾向、また各国金利政策に由来する為替相場の乱高下など、依然として景気の先行きは不透明な状況が続いております。

物流業界におきましては、原油価格の高騰、慢性的な人手不足、競争の激化など、従前と変わらぬ厳しい経営環境が継続しております。

こうした状況の中、当社グループの第3四半期連結累計期間における売上高は、業務量の回復などにより1,588億22百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

営業利益につきましては、燃料費や人件費の増加などにより144億79百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

経常利益につきましては、為替差益の計上などにより165億55百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては113億93百万円（前年同期比5.6%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

① 運送事業

貨物取扱量の回復などにより、売上高は727億40百万円（前年同期比8.6%増）となりました。営業利益は、燃料価格の高騰はありましたが、増収効果や輸送効率向上などにより37億51百万円（前年同期比12.6%増）となりました。

② 倉庫事業

国内外で継続的に行ってきた倉庫の新增設の効果などにより保管貨物量が増加し、売上高は283億83百万円（前年同期比10.6%増）となりました。営業利益は、減価償却の増加はありましたが増収効果などにより63億80百万円（前年同期比8.2%増）となりました。

③ 梱包事業

業務量の回復などにより、売上高は366億78百万円（前年同期比12.1%増）となりました。営業利益は、外注費の増加はありましたが増収効果などにより21億48百万円（前年同期比7.2%増）となりました。

④ テスト事業

テスト業務の中止や遅れの発生により、売上高は154億92百万円（前年同期比3.9%減）となりました。営業利益は、人件費や外注費の増加などにより14億46百万円（前年同期比46.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は774億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ28億14百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が17億28百万円増加したことによるものであります。固定資産は2,718億47百万円となり、前連結会計年度末に比べ70億28百万円増加いたしました。これは主に、岩手県北上市、宮城県岩沼市、群馬県邑楽町、神奈川県厚木市、滋賀県日野町、三重県鈴鹿市、福岡県志免町に倉庫を取得、神奈川県厚木市、福岡県志免町、宮城県仙台市、岩手県金ケ崎町、茨城県古河市に事業所用地を取得したことなどにより有形固定資産が75億58百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は3,493億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ98億42百万円増加いたしました。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は541億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ97億50百万円増加いたしました。これは主に長期借入金からの振替により短期借入金が116億51百万円増加した一方、賞与引当金が20億26百万円減少したことによるものであります。固定負債は728億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ31億96百万円減少いたしました。これは主に新規借入及び短期借入金への振替により長期借入金が30億17百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は1,269億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ65億54百万円増加いたしました。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産は2,223億23百万円となり、前連結会計年度末に比べ32億88百万円増加いたしました。これは主に増加要因として自己株式が30億13百万円減少、為替換算調整勘定が10億72百万円増加した一方、減少要因としてその他有価証券評価差額金が8億60百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は63.5%（前連結会計年度末は64.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、前回発表（2022年11月4日）の業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくため、実際の業績は今後様々な要因により記載の予想の数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	30,227	31,955
受取手形及び売掛金	35,110	35,558
電子記録債権	3,545	4,086
有価証券	456	262
原材料及び貯蔵品	531	598
その他	4,797	5,022
貸倒引当金	△12	△15
流動資産合計	74,655	77,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	103,224	111,328
機械装置及び運搬具(純額)	8,825	7,855
工具、器具及び備品(純額)	1,323	1,495
土地	110,792	115,326
リース資産(純額)	180	150
建設仮勘定	7,981	3,729
有形固定資産合計	232,328	239,886
無形固定資産		
無形固定資産	2,173	2,343
投資その他の資産		
投資有価証券	20,911	19,766
長期貸付金	559	447
繰延税金資産	3,485	3,464
その他	5,390	5,987
貸倒引当金	△29	△48
投資その他の資産合計	30,317	29,617
固定資産合計	264,819	271,847
資産合計	339,475	349,318

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,537	10,612
電子記録債務	6,200	6,807
短期借入金	1,823	13,474
リース債務	85	51
未払法人税等	3,645	2,283
賞与引当金	3,977	1,950
役員賞与引当金	196	163
設備関係支払手形	489	347
営業外電子記録債務	3,929	3,604
その他	12,482	14,822
流動負債合計	44,367	54,117
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	13,210	10,192
リース債務	88	81
繰延税金負債	5,138	4,789
退職給付に係る負債	5,696	5,842
役員退職慰労引当金	435	431
その他	1,502	1,538
固定負債合計	76,072	72,876
負債合計	120,440	126,994
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,316	11,316
資本剰余金	12,332	12,332
利益剰余金	190,340	190,354
自己株式	△6,609	△3,596
株主資本合計	207,380	210,407
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,621	8,760
為替換算調整勘定	1,807	2,880
退職給付に係る調整累計額	△330	△244
その他の包括利益累計額合計	11,098	11,396
新株予約権	227	210
非支配株主持分	328	308
純資産合計	219,035	222,323
負債純資産合計	339,475	349,318

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	146,562	158,822
売上原価	124,534	136,026
売上総利益	22,028	22,796
販売費及び一般管理費	7,425	8,317
営業利益	14,602	14,479
営業外収益		
受取利息	52	67
受取配当金	596	675
受取賃貸料	55	55
持分法による投資利益	310	458
為替差益	144	331
雑収入	395	720
営業外収益合計	1,554	2,308
営業外費用		
支払利息	154	168
雑支出	39	64
営業外費用合計	193	232
経常利益	15,963	16,555
特別利益		
固定資産売却益	79	46
投資有価証券売却益	3	-
受取補償金	17	-
特別利益合計	100	46
特別損失		
固定資産売却損	12	5
固定資産除却損	56	113
投資有価証券売却損	4	-
特別損失合計	72	119
税金等調整前四半期純利益	15,991	16,482
法人税等	5,193	5,106
四半期純利益	10,798	11,376
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5	△17
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,792	11,393

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	10,798	11,376
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△969	△860
為替換算調整勘定	333	944
退職給付に係る調整額	34	86
持分法適用会社に対する持分相当額	75	129
その他の包括利益合計	△525	300
四半期包括利益	10,272	11,676
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	10,264	11,692
非支配株主に係る四半期包括利益	7	△15

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,352,000株を2,999百万円で取得しました。

また、2022年5月13日開催の取締役会決議に基づき、2022年5月31日に自己株式2,500,000株を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式が5,986百万円それぞれ減少しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
自動車	18,066	6,386	12,870	15,612	52,936	1,124	54,061
自動車部品	15,667	7,187	7,021	429	30,306	1,193	31,499
住宅	11,601	2,216	5,858	-	19,676	112	19,789
農機	3,540	1,218	734	14	5,507	98	5,605
食品・飲料	1,128	1,697	452	-	3,279	150	3,429
新聞・出版物	3,469	0	0	-	3,469	-	3,469
その他	13,491	6,947	5,788	63	26,291	2,416	28,707
顧客との契約 から生じる収益	66,965	25,654	32,726	16,120	141,466	5,096	146,562
外部顧客への売上高	66,965	25,654	32,726	16,120	141,466	5,096	146,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	223	220	306	16	767	1,917	2,684
計	67,188	25,874	33,033	16,137	142,233	7,013	149,247
セグメント利益	3,332	5,898	2,004	2,704	13,940	772	14,712

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,940
「その他」の区分の利益	772
その他の調整額(注)	△110
四半期連結損益計算書の営業利益	14,602

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	運送事業	倉庫事業	梱包事業	テスト事業	計		
売上高							
自動車	19,720	7,025	15,545	14,966	57,257	505	57,762
自動車部品	17,239	7,639	7,264	377	32,520	1,551	34,071
住宅	12,070	2,583	6,138	-	20,792	147	20,939
農機	3,548	1,183	696	20	5,449	82	5,532
食品・飲料	1,332	1,783	569	-	3,685	51	3,737
新聞・出版物	3,496	0	0	-	3,496	-	3,496
その他	15,331	7,704	6,465	127	29,628	2,332	31,961
顧客との契約 から生じる収益	72,740	27,920	36,678	15,492	152,831	4,669	157,501
その他の収益	-	462	-	-	462	859	1,321
外部顧客への売上高	72,740	28,383	36,678	15,492	153,294	5,528	158,822
セグメント間の内部 売上高又は振替高	317	216	231	14	779	2,421	3,200
計	73,057	28,599	36,909	15,506	154,073	7,950	162,023
セグメント利益	3,751	6,380	2,148	1,446	13,727	916	14,643

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、通関事業及び自動車の修理事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	13,727
「その他」の区分の利益	916
その他の調整額(注)	△164
四半期連結損益計算書の営業利益	14,479

(注) その他の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため記載を省略しております。